

活動報告

2016年9月1日付号

日本共産党
前市議員

とがし豊



皆様のご意見をお寄せください！発行・日本共産党京都左京地区委員会 電話・761-6341(自宅TEL771-7847)

日誌

【8月】4日日中友好協会左京支部懇親会／5日党創立記念講演ネット中継会／6・7日錦林学童夏レクリエーション長女と参加／9日「うちら困ってんね京都」の皆さんと党左京地区委員会メンバーとの懇談会／16日大文字送り火消防警備／19日下鴨神社マンション建設問題対策の相談、左京みんなのデモ／20日紫竹小学校OB会／22日世界遺産・下鴨神社 紉の森問題を考える市民の会／25日川東社会福祉協議会懇親会／27日夏まつり子ども地藏盆@檀王法林寺(設営～撤収)／28日吉田コミュニティ・サマーコンサート(写真)



8/19 左京みんなのデモ参加者の皆さんと私

市民グループの皆さんと懇談

二月の市長選で本田久美子候補を勝手連として応援されたことがきっかけに結成された市民グループの皆さんと党左京地区メンバーで意見交換。「共産党の方には耳の痛い話かもしれないけど・・・」といいながら率直な意見を次々と出していただき、大変勉強になりました。

世界遺産を守れ 国際緊急署名始動！ 開発による破壊ストップ！

ユネスコの世界遺産委員会は、未来へ残すべき人類の遺産として「世界遺産」を認定し国際的な保護に努めています。そのため、もつとも重要な世界遺産部分を「コアゾーン」に指定し、そのゾーンを守るためにも保護が必要な区域として「バッファゾーン」(緩衝地帯)を設置しました。

ところが、この世界遺産区域を破壊する開発が、銀閣寺・哲学の道沿道開発(住民運動で中止)、下鴨神社マンション・倉庫建設計画(係争中)、仁和寺・ガソリンスタンドやコンビニ建設(住民運動で中止)、二条城・堀周辺の緑地帯を駐車場化(係争中)など、相次いでおこっており、行政が開発推進の立場で破壊に手を貸すも、住民が立ち上がるしかないとの思いで、多くの団体・個人が協力し合い「国際緊急署名」をスタ

ートすることになりました。3日には集会が開催され、本格的な署名集めが集まります。私も全力で集めたいと思います。ご協力をお願いします。

京都美術館の命名権売却 計画を見直せば不要

市長が独断で、京都市美術館の命名権を五十億円で売却することを計画していることに芸術関係者のみならず多くの市民から批判の声が上がっています。市議会では、共産党はもちろん自民党も反対。美術館の改修工事だけであれば五〇億円です。そのうち、収蔵庫建て替えと一体に現代アート美術館を美術館の北東に建設し、南西の芝生にレストランをたて、美術館の地下にその厨房やカフェを配置、美術館全面をすり鉢状に掘って、地下一階にエントランスをつくるという工事に、さらに五十億円必要というのです。ある芸術関係者は「現代アートは古い建物の方が展示に適しており学校跡地活用がもっともふさわしい。収蔵庫と本館の改修だけで十分。レストランもいらない。美術館の名前を売るなどという恥ずかしいことだけはしてほしくない」とおっしゃっていました。まったく同感です。なんとしても食い止めましょう。

雑記帳・大雨、大文字の裏舞台

今年も消防団員として、大文字送り火の消防警備に参加させていただきました。豪雨の中、護摩薪を燃やしぬいた保存会の皆さんのがんばりは本当にすごかったです。いつもなら瞬間に「大」の字が完成するのに、今回は、豪雨と湿気により、すべての薪に着火するまでに二〇分くらいかかっていました。ビニールシートで薪を雨や湿気から守りながら火をつけられる姿は「すごい！」の一言につきま。夜一〇時頃帰宅すると、雨でびしょびしょになった私のところに、子どもたちが駆け寄ってきました。「雨やのに大文字、燃えたの？」「どうやって燃やしたの？」「燃える葉使って燃やしたってホント？」と次々質問してくる子どもたち。「お父ちゃんが担当していた場所の人たちは、薪の上にシートや傘をかぶせて濡れないようにして火をつけて、燃えた瞬間にシートをとりはらって燃え広がらないようにつけはったんやで」と説明。驚く子どもたちですが、こうした伝統行事を身近に感じてもらえたのは消防団をやっていたからかなあと、しみじみ。しかし、驚くべきはあの大雨の中、皆さん無事に帰宅できたこと。保存会、関係者の皆さんお疲れ様。